

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 元年 6月 17日

越谷市長 高橋 努 殿

提出者

住 所 埼玉県さいたま市桜区西堀1丁目11番地39号

氏 名 ユニオン建設株式会社 大宮支店

取締役支店長 下 喜巳男

電話番号 048-872-0199

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成30年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ユニオン建設株式会社 大宮支店 南越谷出張所
事業場の所在地	埼玉県越谷市南越谷 2番地-10号
事業の種類	特定建設業 総合工事業 一般土木建築工事
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

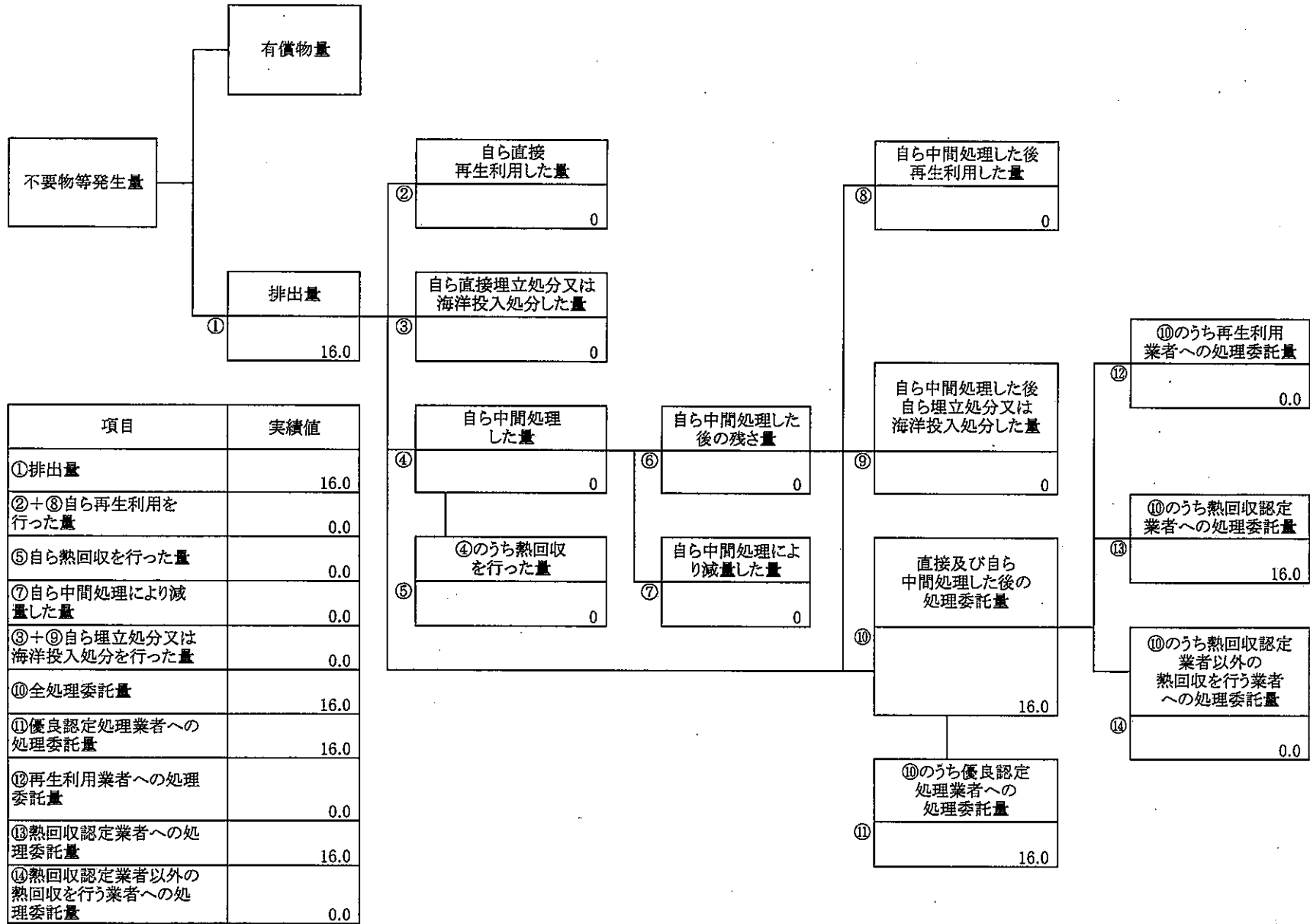
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,601.9 t	全 処 理 委 託 量	1,601.9 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,601.9 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,465.0 t
自ら中間処理により減量す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	136.9 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t

※事務処理欄

計画の実施状況

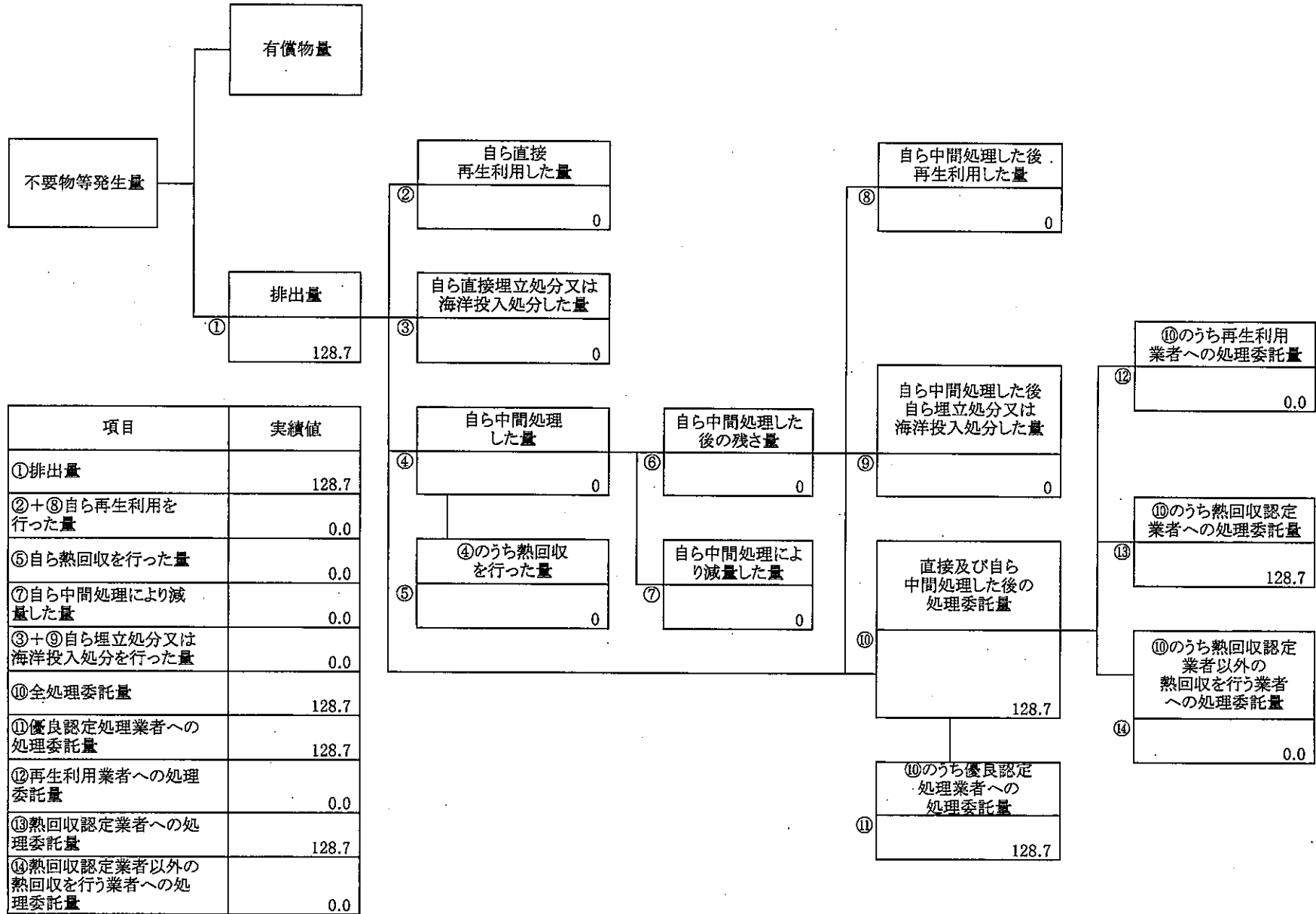
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	16.0
②+③自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	16.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	16.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

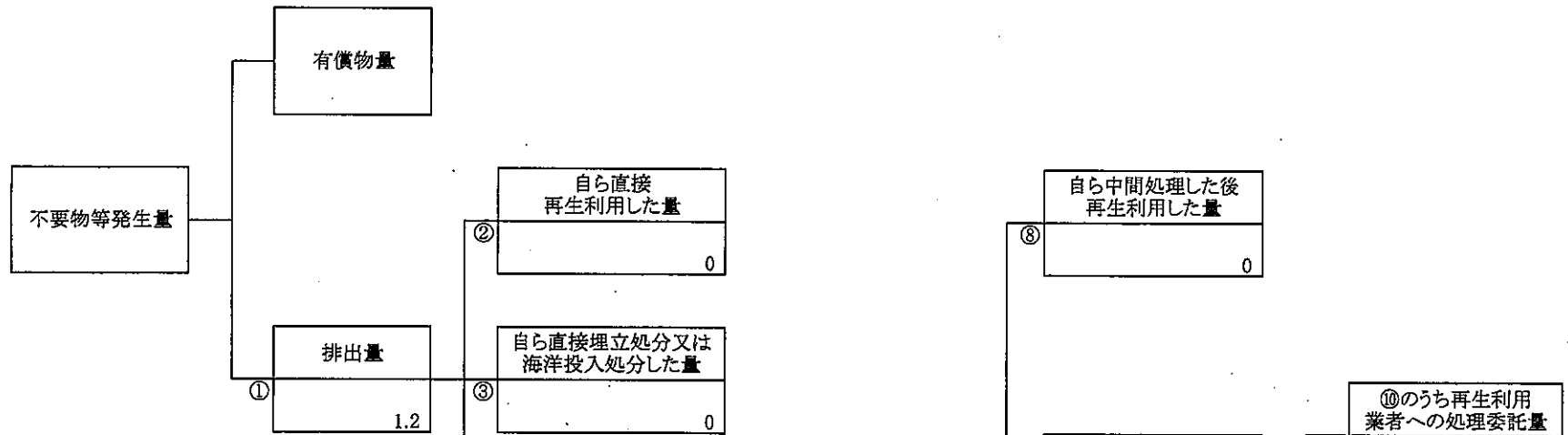
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	128.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑥自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	128.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	128.7
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	128.7
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

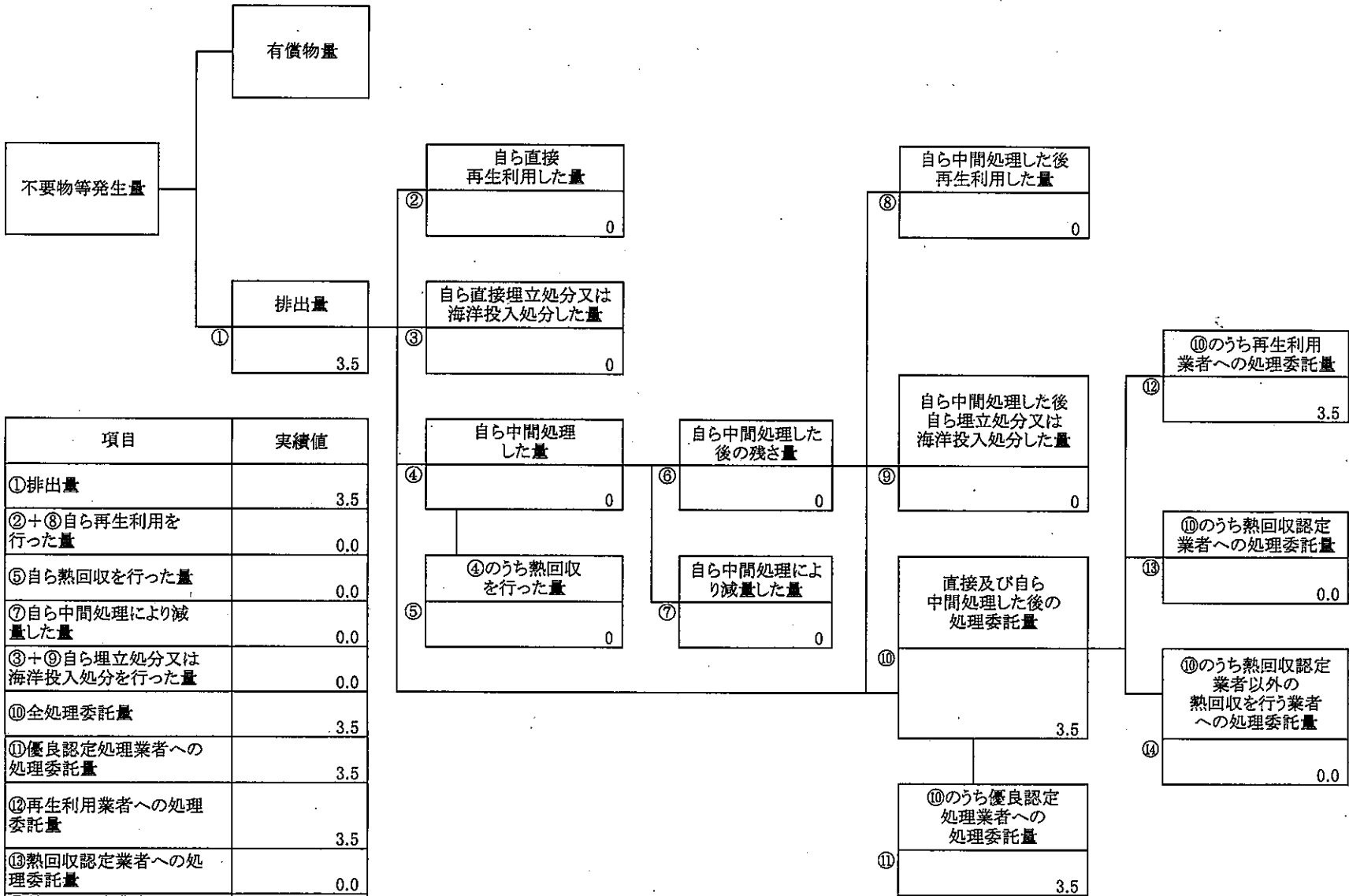
(産業廃棄物の種類: 金属くず)



項目	実績値
①排出量	1.2
②+③自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2
⑫再生利用業者への処理委託量	1.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

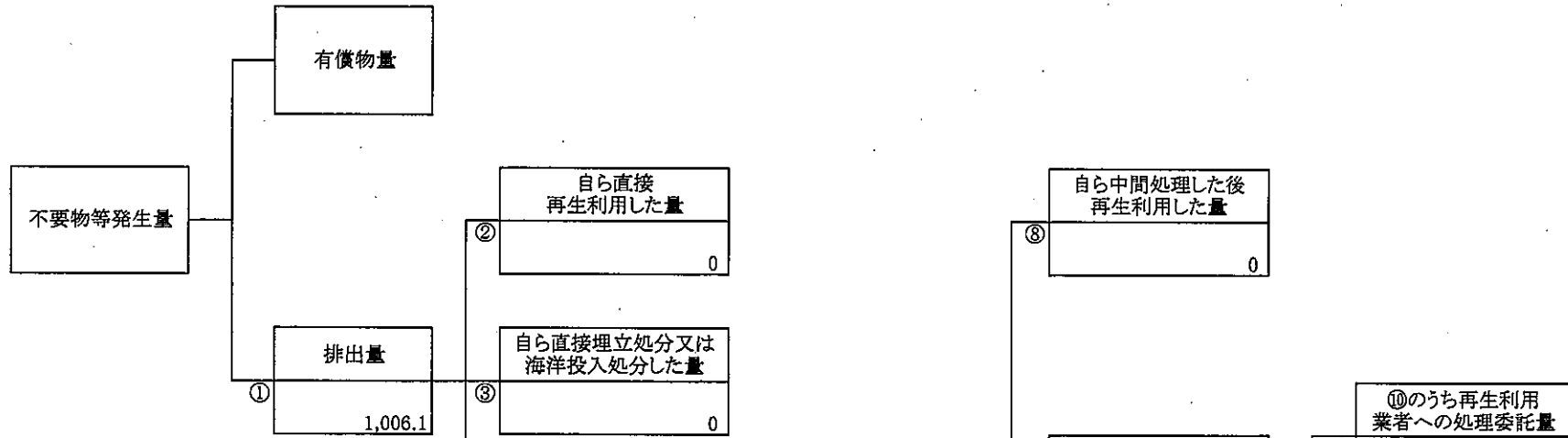
(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	3.5
②+③自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	3.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.5
⑫再生利用者への処理委託量	3.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

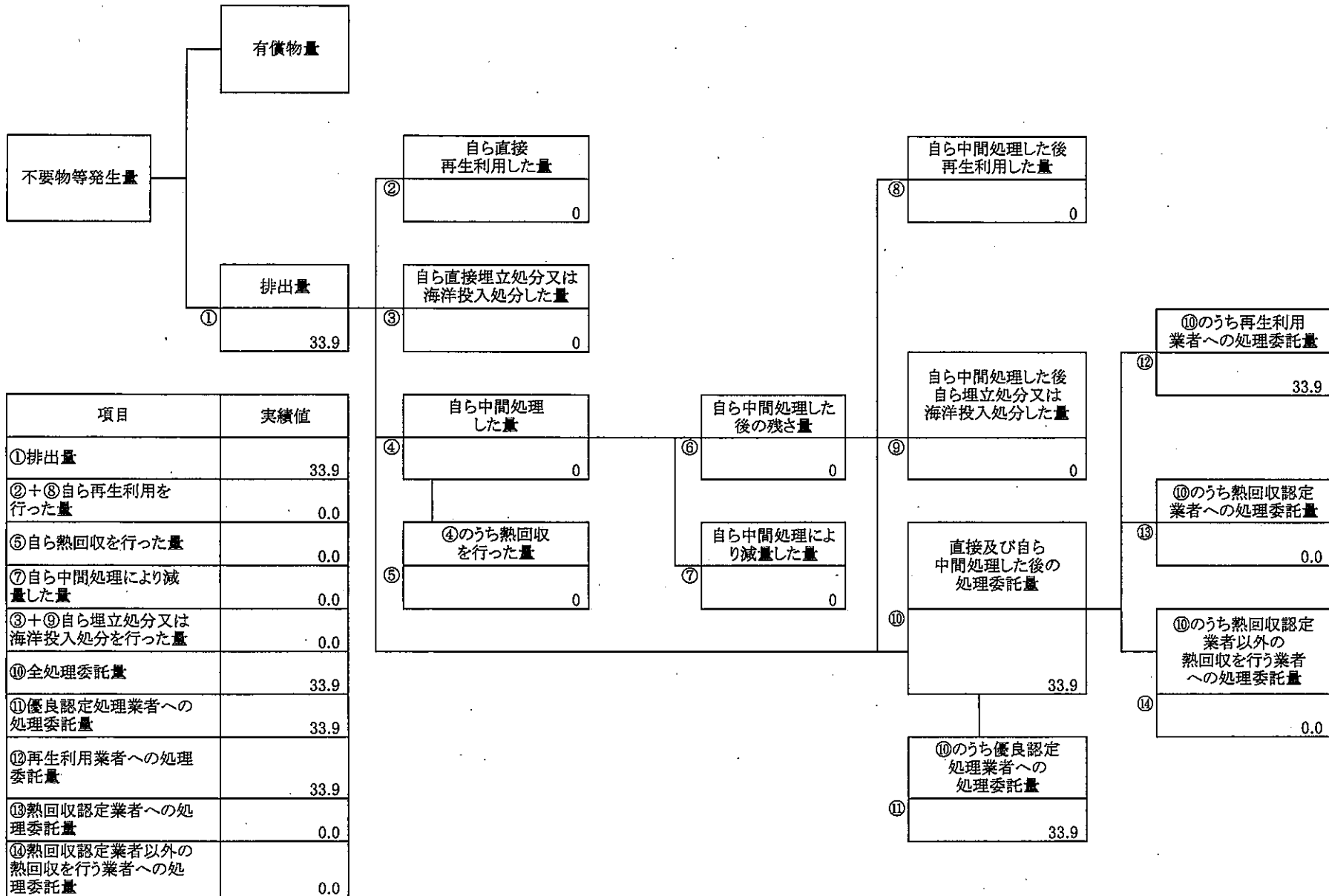


項目	実績値
①排出量	1,006.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,006.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.1
⑫再生利用業者への処理委託量	1,006.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設系混合廃棄物)

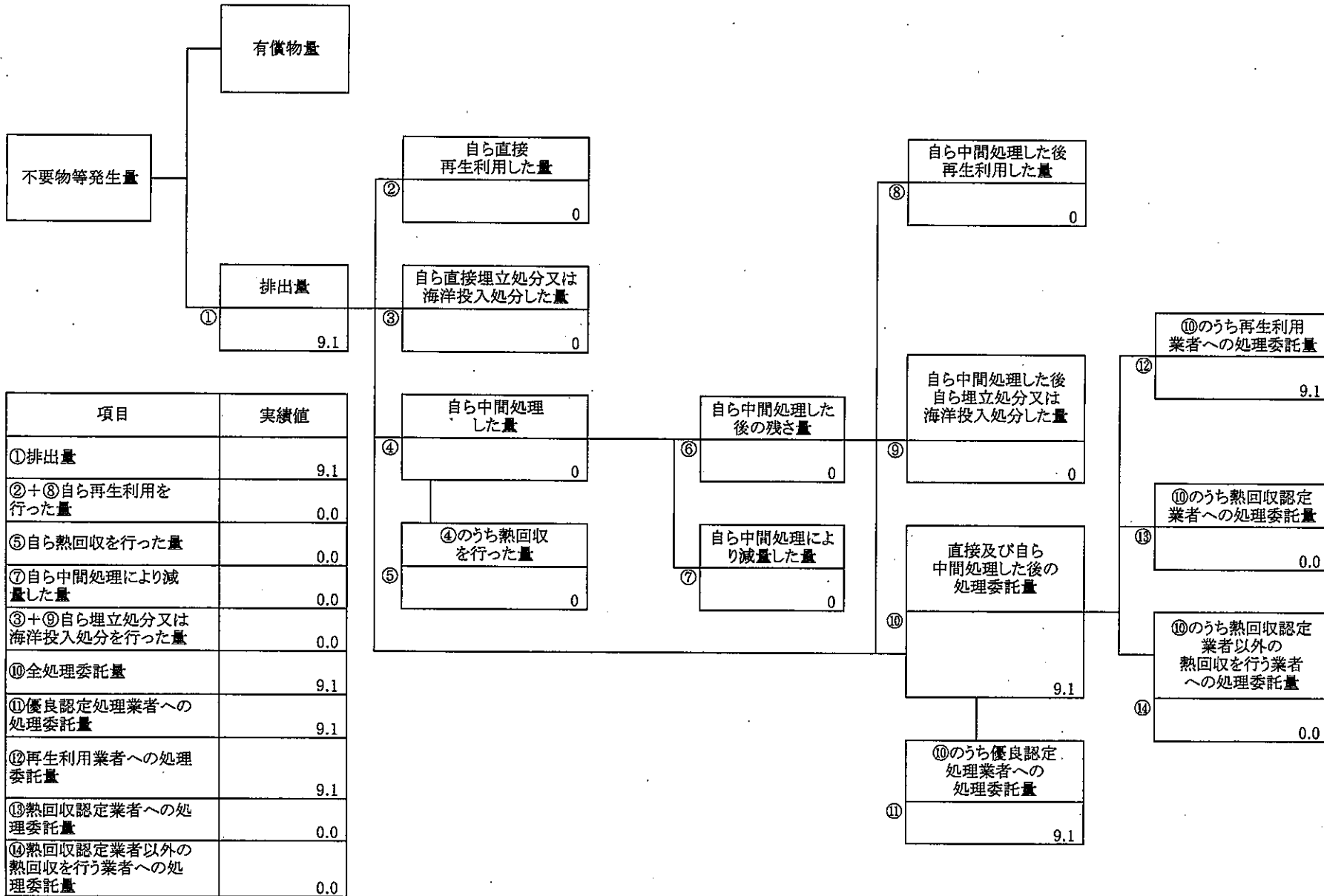
)安定型



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設系混合廃棄物)

)管理型



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の [集 計 用 シ ー ト]

調査 年月	産業廃棄物の種類 コード 名称	計 画 の 実 施 状 況										⑫ = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩				⑬ + ⑭ 自ら再生利用 を行った量 ^(ロ)	⑮ + ⑯ 自ら焼立処分又は 投入処分を行った量 ^(ハ)		
		①排出量 (イ)	②自ら直接 再生利用した量	③自己処理焼立 処分又は海洋投 入処分した量 ^(ニ)	④自ら中間処理 した量	⑤のうち 焼却を行った量 ^(ロ)	⑥自ら中間処理 した後の焼却量 ^(ロ)	⑦自ら中間処理 により減量した 量 ^(ロ)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 ^(ロ)	⑨自ら中間処理 した後焼立処分 又は投入処分した量 ^(ロ)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 焼却量 ^(ロ)	優先による区分							
												⑪再生利用者への 処理委託量 ^(ロ)	⑫焼却委託業者 への処理委託量 ^(ロ)	⑬焼却施設等以外 の焼却委託業者 への処理委託量 ^(ロ)	⑭その他の中間処理 委託量 ^(ロ)			⑮焼立処分委託量 ^(ロ)	⑯焼却委託業者 への処理委託量 ^(ロ)
100	燃え殻	0.0									0.0							0	0
200	汚泥	0.0									0.0	0.0						0.0	0
300	廃油	0.0									0.0							0	0
400	廃酸	0.0									0.0							0	0
500	廃アルカリ	0.0									0.0							0	0
プラスチック類		18.0	0	0	0	0	0	0	0	16.0	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0	18.0	0	0	0
800 廃プラスチック類		18.0								16.0		18.0				18.0		0	0
2430 廃プラスチック類(石綿含有)		0.0								0.0		0.0				0.0		0	0
700	紙くず	0.0								0.0								0	0
800	木くず	128.7								128.7		128.7				128.7		0	0
900	繊維くず	0.0								0.0								0	0
1200	金属くず	1.2								1.2	1.2					1.2		0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		3.5	0	0	0	0	0	0	0	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5		0	0
1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		3.5								3.5	3.5					3.5		0	0
1322 廃石膏ボード		0.0								0.0	0.0					0.0		0	0
2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)		0.0								0.0	0.0					0.0		0	0
がれき類		1,006.1	0	0	0	0	0	0	0	1,006.1	1,006.1	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1		0	0
1500 その他のがれき類		958.3								958.3	958.3					0.0		0	0
1501 コンクリート塊		47.1								47.1	47.1					20.3		0	0
1502 アスファルト・コンクリート塊		2.8								2.8	2.8					2.8		0	0
2440 がれき類(石綿含有)		0.0								0.0	0.0					0.0		0	0
建設系混合廃棄物		42.9	0	0	0	0	0	0	0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	43.0		0	0
2010 建設系混合廃棄物(安定型)		33.9								33.9					33.9	33.9		0	0
2020 建設系混合廃棄物(管理型)		9.1								9.1					9.1	9.1		0	0
2410 建設系混合廃棄物(石綿含有)		0.0								0.0	0.0				0.0	0.0		0	0
合計		1,193.3	0	0	0	0	0	0	0	1,193.3	1,010.8	144.8	0.0	0.0	42.9	215.3		0	0

(注1)トン未満は四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じて、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。